

JSAF 派遣生 留学レポートより

先輩は CSU ノースリッジ校でこんな授業を受けています！

California State University, Northridge(アメリカ・カリフォルニア州)

2024 年春派遣生の履修科目紹介

「留学中、実際にどんな授業を受けるの？」——参加を検討中の皆さんから一番多く寄せられる質問です。このページでは、CSU ノースリッジ校へ派遣された先輩の留学レポートから、履修した科目を授業内容や先輩のリアルな感想とともに紹介します。

◆ 先輩レポート 1 語学研修で英語力を鍛え、映画・メディア系の学部授業に挑戦した先輩

在籍:獨協大学 外国語学部 英語学科(2 年・休学留学・2024 年春派遣)

英語力を上達させることを目的に、休学して約 9 カ月間 CSU ノースリッジ校(CSUN)へ留学。春からの IEP(集中英語プログラム)で英語力を磨いた後、秋学期は興味のある映画・メディア分野を中心に学部授業を 4 科目履修しました。

— 語学研修(IEP) —

IEP Intensive English Program(集中英語プログラム)	
履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
クラス規模	1 クラス約 10 人。日本人と中国人がほとんどで、韓国、インドネシア、アフリカ出身の学生も少数いました。
どんな授業？	月曜日から金曜日まで毎日授業があり、プレゼンテーションや小テスト、最終課題などに取り組みます。授業のほかに、IEP の先生と言語学専攻の現地学生による Tutoring Hour や Conversation Hour が毎週開催され、プレゼンテーションやディバートの準備を手伝ってもらえたり、様々なトピックについて英語でコミュニケーションをとる練習ができたりします。
先輩の声	ほとんどの学生が一生懸命取り組んでいて、先生方もとても親身になって熱心に教えてくれました。授業時間を除いた勉強時間は 1 日 5~6 時間で、プレゼンテーションや小テストの前は睡眠時間が 3 時間の日もあるほど忙しかったです。受験生の頃よりも勉強していたと言えるほど辛かったです。思い返せば、あんなに自分を追い込んで最後まで頑張り抜いたことをとても誇りに思います。Conversation Hour ではリスニング力とスピーキング力が鍛えられ、人前で英語を話す自信につながりました。

— 秋学期(学部授業) —

CTVA100 Intro Mass Communication(3 単位)	
履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	授業参加、課題・感想文、中間レポート、期末レポートで総合的に評価されます。
どんな授業？	社会的・経済的な影響を通して、様々な形態のマスメディアの基礎を学ぶ授業です。
先輩の声	ネイティブに囲まれた環境で受ける授業は苦勞することばかりでした。授業の冒頭から何の話をしているのかついていけず、聞き取れた単語をメモして授業後に調べる作業をひたすら続けました。レポートでは、先生の指示に従って高評価をもらうことができたので嬉しかったです。

CTVA215 Cult Film And TV(3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	毎回のクイズ、レビュー課題、期末ペーパーで評価されます(レビューが評価の半分を占めます)。
どんな授業？	カルト映画の根本的なメッセージを理解し、撮影者の視点、研究・文献の視点、視聴者の視点から考察する授業です。
先輩の声	英語でカルト映画を観て理解するのはとても難しい作業でしたが、回数を重ねて慣れていくうちに、英語の音声でも何となく意味を理解できるようになり達成感がありました。授業後のクイズで作品の理解度を毎回確認できたのがとても役立ちましたし、新しい単語を知るチャンスもたくさんあって勉強になりました。

ENGL312 Lit Film Media(3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	授業参加、ディスカッション、ポートフォリオ、プレゼンテーション、最終課題が均等の割合で評価されます。
どんな授業？	原作が映画、劇、アトラクションへと作り変えられるプロセスにおいて生まれる違いや変更(アダプテーション)を学ぶ授業です。
先輩の声	映画にはとても興味があったので、どのような過程で原作から映画に作り変わるのかを学べて楽しかったです。他の学生もアダプテーションに非常に興味があり、積極的に発言していました。課題のリーディングが多く苦労しましたが、わからなかった部分はグループワークで他の学生に聞いたり、先生に直接相談したりして理解しました。ポートフォリオでは「ハリー・ポッター」のアダプテーションを研究。すべて英語の参考文献を使って準備するのはとても大変でしたが、最終的には大きな達成感を得ることができました。

ENGL370 Scifi Fantasy Horror(3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	クラスディスカッションとプレゼンテーションを中心に評価されます。
どんな授業？	ファンタジー・ホラー・SFといったフィクション映画を通して、幅広い批判的視点に基づいて考察する授業です。
先輩の声	私自身興味がある内容だったのですが、授業のペースについていくのがとても大変でした。他の学生の前で発言する自信がなかった一方で、映画「ジョーカー」と社会的不平等の関係性に焦点を当てたグループプレゼンテーションには積極的に参加し、全員の前で発表できたので、自分の中で少し成長を感じました。現地の学生の前での発表はとても緊張しましたが、周りの学生がサポートしてくれたので安心して発表できました。

先輩が感じた、CSU ノースリッジ校の授業のここがすごい！

「日本の授業と一番異なる点は、生徒がひとりひとり積極的に発言をするということです。先生が講義をするより、生徒の発言の方が多い授業もありました。それぞれの学生が意見を持って発言し、授業に積極的に参加する姿をとても尊敬しました。」

「授業で新しい単語や表現方法を学ぶ機会が多く、同時にコミュニケーションを通して意見を交換することもあったので、インプットとアウトプットのバランスがうまく取れていました。」

「現地の学生は積極的に意見を言うので、初めは怖いイメージを抱くかもしれません。でも自分の意見を言うことは、堂々としていて自信があるということなので、むしろ好印象。授業で発言することを怖がらないことが大切です。」

—— 2024 年春派遣・獨協大学の先輩

※本ページの内容は 2024 年春派遣生の留学レポートに基づいています。開講科目・評価方法・単位数は変更になる場合があります。